



平成30年 6月 1日第3号

大砂土小学校 ホームページアドレス <http://osato-e.saitama-city.ed.jp/> メールアドレス [osato -e@saitama-city.ed.jp](mailto:osato-e@saitama-city.ed.jp)

学校教育目標「自ら学び、考えて行動する児童の育成」  
～ 認め合い、学び合い、共に育つ ～

<目指す児童像>

かしこい子(知) 明るい子(徳) たくましい子(体)

互いにコミュニケーションを図ることにより、

認め合い、高め合い、共に伸びる子

TEL 663-7005

FAX 663-9886

## 「いじめは卑怯な行為」

校長 書上 敦志

さいたま市では、「いじめは、どの学級でも、どの児童にも起こり得る」という認識の下、子どもたちが明るく楽しい学校生活を過ごすことができるよう、各学校で「いじめ基本方針」を策定し、「いじめ防止・早期発見・適切な対処」について示しています。本校でも、6月は、いじめ撲滅強化月間として、様々な取組を予定しています。○いじめ撲滅に向けた学級スローガンづくり○児童会によるいじめ撲滅キャンペーン○校長による講話など…。

※詳細は、【HP】と【生徒指導部だより けやきの森から】を参照ください。

さて、子どもたちには子どもたちの世界があります。なかなか大人も簡単に踏み込めない世界があります。まだまだ未成熟な子どもたち。いじめられたりいじめたり。わが子によその子をいじめているようなら、親としていじめている行為についてただす必要があります。わが子がいじめられているようなら、親としてわが子の思いに寄り添って解決の糸口を一緒に考えていかななくてはなりません。わが子が、いじめてしまったときもいじめられてしまったときも、その変化やSOSは身近にいる保護者の皆さんがいち早く気が付かれることでしょう。そのようなときはいつでも学校にご相談ください。教師は、いじめられている子の味方になってその子を守ると同時に、いじめてしまう子への指導も行います。どちらも、どの子も大切な大砂土小学校の子どもだからです。担任だけでなく学校全体で解決に向けて取り組みます。生徒指導主任、教育相談主任、養護教諭、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど、総力を挙げて取り組む体制を整えます。

一般的に、あいさつや言葉遣い、身の回りの整理整頓、早寝早起き、朝ごはんなど基本的な生活習慣を身に付けることで子どもたちの心は安定すると言われています。学校でも折に触れて指導しますが、ご家庭でも是非お願いします。また、過保護や放任では子どもたちが自分で問題を解決する力は身に付きません。ご近所の方との関わり方や地域の行事への参加などを通して、お子さんを多面的に見る機会をもつことも大切です。家庭では見られないお子さんの素敵な一面を見ることもあるでしょう。子どもを信じるということは、子どもの成長を信じることだと考えます。わが子が(学級の教え子が)自身の困難や過ちを自分で解決していく力を身に付け、自立していくことを親として(担任として)信じるということではないでしょうか。

「弱い者いじめは格好が悪い」ということを、子どもたちの身近にいる私たち大人が真剣に教え諭していきましょう。学校・子ども・保護者が、ともに理解し合って、「いじめは絶対に許されない卑怯な行為である」という校風をつくってまいりましょう。

【学校教育ビジョン：「夢いっぱい 笑顔いっぱい ひとみ輝く大砂土っ子」の育成】

